

港湾事業特別会計

問い合わせ：留萌市地域振興部経済港湾課港湾振興係
(Tel. 0164-42-1840)

総括

留萌港は、旭川市を中心とした上川・留萌・空知地域の産業・生活を支える物流拠点として重要港湾に指定されています。留萌港では、一度に大量の貨物を輸送することができる大量低コスト輸送に対応すべく、三泊地区に12m岸壁を整備しており、現在では3万トン級の大型船舶が入港しています。

また、大規模地震に備えて耐震強化岸壁として整備していることから、震災時における救援物資の受け入れが可能であり、防災拠点としても大きな役割を担っています。

留萌港における主な輸出入取扱い貨物は、石炭、石油製品、アスファルト及び原木で、平成27年の輸出入貨物は54万トンとなり、前年と比較して2万トン（3.6%）の減少となりました。

輸入はそれぞれの貨物で若干減少し、52万トン（5.6%減）となりましたが、輸出については中国及び韓国への原木（道産材）の輸出が増加した他、米の輸出があったため2万トン（107.8%増）となっています。

収入

(単位：千円、%)

①港湾使用料は港湾施設用地使用料の増により、前年度を上回りました。

②繰入金は、収入不足のため一般会計より補てんしているものです。

③市債（借金）は、資本費の平準化のために発行しています。

予算科目	平成27年度				平成26年度		平成26年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C (A-B)	C/B
① 港湾使用料	56,549	59,067	32.7	2,518	58,076	31.6	991	1.7
② 繰入金	81,118	75,625	41.8	△ 5,493	80,095	43.7	△ 4,470	△ 5.6
③ 市債	46,200	46,200	25.5	0	45,300	24.7	900	2.0
合計	183,867	180,892	100.0	△ 2,975	183,471	100.0	△ 2,579	△ 1.4

支出

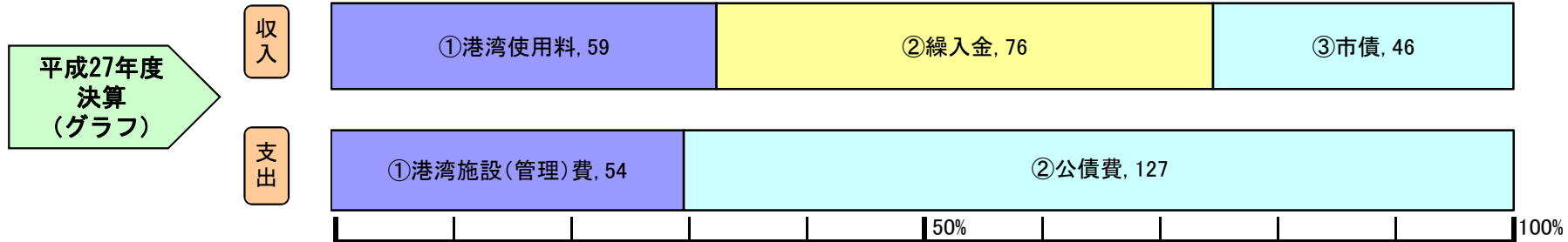
(単位：千円、%)

①港湾施設（管理）費は、人件費が対象職員の変更により増加しましたが、引船の整備が平成27年度は一般整備（平成26年度は6年に一度の定期検査実施）であったことから、前年度を下回りました。

②公債費は、過去に借りました市債（借金）の返済分です。

予算科目	平成27年度				平成26年度		平成26年度決算との比較	
	予算額	決算額A	構成比	予算との比較	決算額B	構成比	C (A-B)	C/B
① 港湾施設（管理）費	56,360	54,396	30.1	△ 1,964	58,734	32.0	△ 4,338	△ 7.4
② 公債費	126,507	126,496	69.9	△ 11	124,737	68.0	1,759	1.4
③ 予備費	1,000	0	0.0	△ 1,000	0	0.0	0	0.0
合計	183,867	180,892	100.0	△ 2,975	183,471	100.0	△ 2,579	△ 1.4

(単位: 百万円)



平成28年度執行状況 (9月30日現在)

収入

港湾使用料は、港湾施設（土地）の使用料、船舶給水使用料、引船使用料などで、収入率は約48.9%となっています。
繰入金と市債は、年度末に収納するため、9月の時点での収入はありません。

(単位: 千円、%)

予算科目	平成28年度収入状況		
	予算額	収入済額	収入率
① 港湾使用料	60,618	29,634	48.9
② 繰入金	78,232	0	0.0
③ 市債	47,000	0	0.0
合計	185,850	29,634	15.9

支出

港湾施設（管理）費は、人件費や委託料、燃料費、光熱水費の支払いなどに執行されています。
公債費は年2回の市債の元利償還があり、9月には1回目の償還を執行しています。

(単位: 千円、%)

予算科目	平成28年度支出状況		
	予算額	執行済額	執行率
① 港湾施設(管理)費	55,679	16,285	29.2
② 公債費	129,171	64,073	49.6
③ その他	1,000	0	0.0
合計	185,850	80,358	43.2

※9月末において、収入済額に対して執行済額が上回っていますが、繰入金などの収入が年度末の収入となるためであり、不足分については会計間や一時借入金によって補っています。